



佐土原ロータリークラブ週報



ロータリーを
祝おう

100年の歩み

会 長: 林 厚 雄	会 計: 柳 田 光 寛
副 会 長: 岩 切 正 司	会 報 委 員 長: 宮 原 建 樹
幹 事: 藤 堂 孝 一	

2004-2005 年度 R I テーマ

第 848 回 平成 16 年 8 月 11 日 (水)

本日のプログラム

1. 食 事 鐘
2. 点 鐘
3. ロータリーソング
「それでこそロータリー」
4. 四つのテストの唱和
5. 会 長 の 時 間
6. 幹 事 報 告
7. 委 員 会 報 告
8. 会 員 卓 話
9. 点 鐘

第 847 回の記録 3/4
☆会長の時間

会長 林 厚 雄 君

皆さんこんにちは、今日は第 8 4 7 回の例会です。今年度はロータリー創立 100 周年目にあたりまして RI のテーマの中に歴史を学びましょう。

そこで、今年度は会長の時間にロータリーの歴史について分割して話したいと思います。

まずは、ロータリーの創立者、ポール・パーシー・ハリスの誕生から始めたいと思います。

ハリスは今から 136 年前の西暦 1868 年 4 月 19 日 (日) に、北アメリカのミシガン湖のほとり、ウイソコンシン州のラシーンという町で生まれました。ポールの生家は、雑貨店で、ポールは薬剤師ジョージ・ハワード・ハリスと、コーネリア・ブライアンとの間に生まれた次男です。ポールには兄 1 人、弟 3 人、妹 1 人の 5 人がありました。兄セールは、1920 年代に、シカゴ国際ロータリー事務局に入局、北米地区拡大委員会副幹事をしております。

弟の 1 人、ガイ・ハワードは、1889 年 11 歳で早世、次のクロード・ハロルドは 1898 年米西戦争のときフィリピンで戦死、3 弟レジナルド・クレイトンは、戦争で軽い身体障害を受けましたが、学究肌の人で、30 歳代でワイオミング大学に入学し、1926 年経営学の学位を取り、同大学の教授となりました。

ララミーロータリークラブの副会長もしております。妹ニーナ・メイはルミーン・ポットという人と結婚しました。

ポールの生家は、1 戸建の大きな木造家屋でしたが、1956 年 11 月、ホテル建設の為にとりこわされることになりました。そこで、1952 年ラシーンロータリークラブでは記念館としてこれを保存しようと計画しました。しかし、それが果たせなくなり、仕方なく、取り壊しの前にその建物の中のかし材などをを用いて、100 個を越すロータリーの鐘用槌とスピーチ台を作り、世界各地のロータリークラブに配ったそうです。

ハリスの祖先は、そのハリスという家名からしてスコットランドから移住した人であろうと言われております。スコットランドの北西ミンチ海峡にハリス島という島が実在しております。

ポールの祖父ハワード・ハリスは人格高潔で古武士の風格を備えた人で、ポールもこの祖父を評して、背筋をちゃんと伸ばした長身の人で、質素で頑固な、勤勉、寡黙、正直で神を深く敬い、己を厳に慎む人であったと回顧しております。

祖母パメラは、ウオーリングフォードの実業家の娘です。この祖母は、ポールを最もよく理解してくれた人で、ポールが 3 歳の幼児期から、アイオワ大学に入学するまで 17 年間もの永い年月、母親の愛情を受けることのなかったポールのために、母親代わりの愛情を注いで、ポールの生活面を見守り、その哲学的素養を磨いてくれた人であります。

ポールは、この祖母の訓育によって、将来ポールが、ロータリーを生む基となった他人に対する寛容さと優しい思いやりの心、相手には尊敬の念で接する心がけがどんなに大切であるかということ学びました。そのような美しい心を養成されたからこそ、やがて、ロータリーという、未だかつてなかった国際的奉仕団体を発想させる素地を、ポールの中に植えたものと、考えます。



祖父 ハワード・ハリス



祖母 パメラ

例会場: 石 崎 浜 荘 0985-73-1913 事務局: 〒880-0211 宮崎郡佐土原町大字下田島 20614-29
 例会日: 毎週水曜日 12:30 ~ 13:30 TEL: 0985-73-7170 FAX: 0985-73-7170

